# はじめに

※ ここでは、既にHello.javaを作成したつもりで記載します。

Hello.javaでは以下の様に「Hello World」を表示されるプロラムをコーディングしています。

```
public class Hello {
    public static void main(String args[]) {
        System.out.println("Hello World"); // コマンドプロンプトにHello World を表示させる
    }
}
```

### 目次

- はじめに
  - 目次
  - o Javaの実行までの大まかな流れ
    - 1. ソースコード(ソースファイル名.java)を作成
    - 2. コンパイル
    - 3. 実行
  - コマンドプロンプトを立ち上げよう
  - o classファイルを作成する(コンパイル)
  - Javaを実行してみよう

### Javaの実行までの大まかな流れ

- 1. ソースコード(ソースファイル.java)を作成
- 2. コンパイル
- 3. 実行
- 1. ソースコード(ソースファイル名.java)を作成

Javaが定める文法(上記のHello,javaが例)に従ってコンピュータへの命令を記述します。 この段階では、人が読める状態のプログラムのことをソースコード(ソース)と呼びます。 しかし、この状態では人が読めるだけでコンピュータが読むことができません。そのため、2のコンパイル作 業が必要になります。

#### 2. コンパイル

この処理を行うとソースファイル(Hello.java)を \*\*クラスファイル(Hello.class)\*\*に変換します。このクラスファイルは、ソースコードの各命令をコンピュータが実行しやすい様に変換したバイトコード(1と0の複雑な並び)に置き換わっています。

#### 3. 実行

しかし、バイトコードはソースコードと比べて実行に適した状態であるものの、まだ実行できません。 インタプリタ と呼ばれるソフトウェアに対して、バイトコードの変換と実行を依頼します。インタプリタは 内部にJVMという仕組みを持っていて、クラスファイル内のバイトコードを少しずつ読み込みながらCPUが 解釈できる マシンコード(マシン語、機械語) に翻訳するとともに送って処理を実行させています。

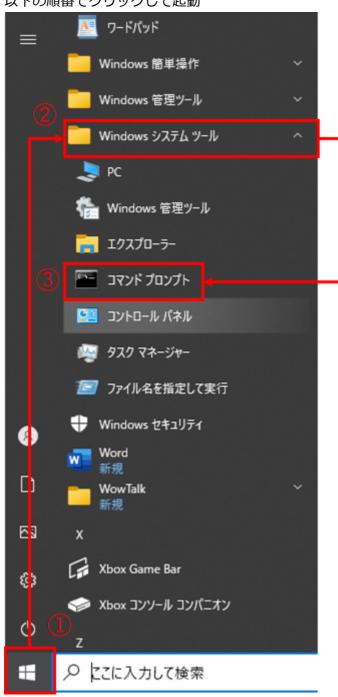
### コマンドプロンプトを立ち上げよう

はじめの方の演習はソースコードをコンパイルさせて実行の流れを意識するために、コマンドプロンプトを 用いて明示的に実行していきます。

※ コマンドプロンプトの詳細な説明は割愛させてもらいます。

立ち上げ方では、

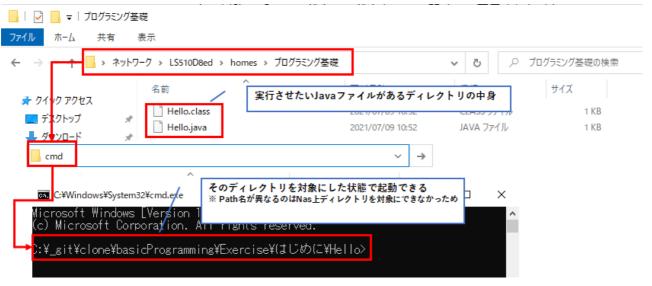
1. 以下の順番でクリックして起動



2. Windowsの健さんボックスに「cmd」入力 + Enter



3. Javaを実行させたいディレクトリ上のPathに「cmd」入力 + Enter



最初のうちはこの起動方法が一番楽だと思います。

1,2に関してはコマンドプロンプトを起動した後に、実行させたいJavaファイルがあるディレクトリに移動す

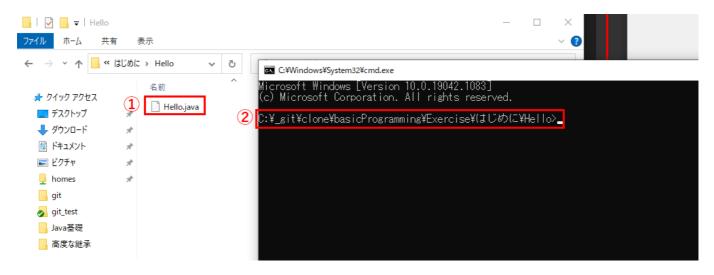
る(cdコマンドを使用)必要があるためです。

## classファイルを作成する(コンパイル)

今回対象にするディレクトリは、「クローン場所\basicProgramming\Exercise\はじめに\Hello」とします。

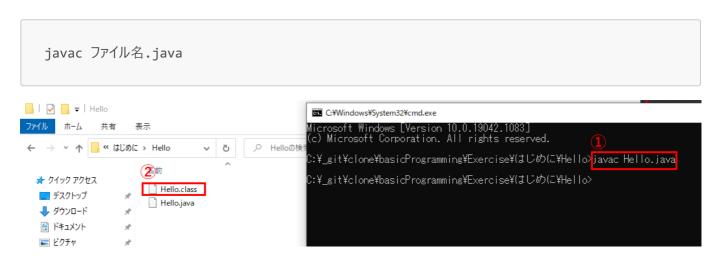
上記の方法でJavaファイルのあるディレクトリを対象にコマンドプロンプトを起動させます。

初期状態では、ディレクトリ内には「Hello.java」のみとなっています。 そして、起動したコマンドプロントが指定しているディレクトリが正確か確認しましょう。



コマンドプロント上で下記の画像の1番のコマンド(javac Hello.java)を入力してEnterを押してください。 そうする2番のようにクラスファイルが生成されます。

コンパイル処理をするコマンドは下記になります。



## Javaを実行してみよう

コンパイルでクラスファイルが作成された状態で以下の画像の様にコマンドを入力してください。 1番のコマンド(java Hello)を入力してください。すると、2番の位置に「Hello World」が表示されました。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe



以上がJavaの実行の一通りの手順になります。